

2023年2月21日

各 位

株式会社三井住友銀行

DREAM プライベートリート投資法人への「グリーンローン」の実施について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、DREAM プライベートリート投資法人（執行役員：竹内 竜太）に対し、グリーンローン（以下、「本ローン」）を実施いたしました。

グリーンローンは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業（以下「グリーンプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポートを通じ透明性が確保されたものを指します。

本投資法人は、三菱商事株式会社の100%子会社であるダイヤモンド・リアルティ・マネジメント株式会社（以下、「DREAM」）を資産運用会社とし、物流施設・商業施設を中心に投資を行っている総合型私募 REIT です。DREAM では、「サステナビリティ・ビジョン」、「サステナビリティ・ドライバーズ」、及び「サステナビリティ重点領域」から成る「サステナビリティ方針」を策定しています。「サステナビリティ・ビジョン：不動産運用の先駆者としてステークホルダーの一步先のニーズに応え、地球環境の保全と経済・社会の持続的発展に貢献する企業であり続ける」は経営上の最上位概念と位置付けられており、全社を挙げてサステナビリティへの取り組みを推進しております。この取り組みを資金調達面においても実践するため、2020年1月に「DREAM プライベートリート投資法人グリーンファイナンス・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）を制定し、本邦私募リート初となるグリーンローンでの資金調達を実施して以降、実績を積み重ねています。

本フレームワークは、国際金融業界団体の ICMA（International Capital Market Association）にて策定された「グリーンボンド原則（2021年版）」、LMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）及び APLMA（Asia Pacific Loan Market Association）にて策定された「グリーンローン原則（2021年版）」、並びに、環境省にて策定された「グリーンボンドガイドライン（2020年版）」及び「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（2020年版）」との適合性について、第三者機関である株式会社日本格付研究所（JCR）から「グリーンファイナンス・フレームワーク評価」を取得しています。

本ローンで調達される資金は、本フレームワークで定められた対象クライテリアを満たす物件の取得資金及びそのリファイナンス資金に充当されます。本投資法人においては、今後もグリーンファイナンスにより調達した資金を活用し、メインアセットである物流・商業施設の取得を積極的に進めることで社会インフラとしての機能を提供するとともに、幅広い投資家の皆様に ESG に取り組む機会を提供してまいります。

SMBC グループでは2021年7月27日に「SMBC Group GREEN Innovator」のコンセプトを公表し、社会のサステナビリティをお客さまとともに実現するためのサービス・商品の提供に一層注力してまいります。また、株式会社三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

【本ローンの概要】

契約締結日	2023年2月21日
実行日	2023年2月24日
貸付人	株式会社三井住友銀行
契約金額	7億円
契約期間	3年

(参考)

DREAM プライベートリート投資法人ホームページ：

<https://dream-dpr.com/>をご参照下さい。

株式会社日本格付研究所（JCR）による「グリーンファイナンス・フレームワーク評価」（2021年9月24日公表）の詳細：

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/green/fw/>をご参照下さい。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

サステナブルソリューション部

TEL：03-4333-6964

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。